

教員組織、教員の学位・業績

平成29年5月1日現在

平成29年度 教員配置表

	文学部				教育学部			生活創造学部		心理相談センター	合計
	国際英語学科	史学科	心理学科	日本文化学科	幼児教育学科	児童教育学科	社会教育学科	生活文化学科	観光文化学科		
教授	1 菱田 信彦 2 ウィリアム・キスチャック 3 小山 久美子 4 長島 一比古 5 6 7 8 9 10	高津 純也 金尾 健美 生井澤 幸子	鶴沼 秀行 橋本(北原)靖子 岩崎 利彦 田中 裕 蓮見 元子 松原 由枝 簗下 成子 矢野 重典	<small>学長</small> 熊谷 園子 長崎 靖子 内海崎 貴子	永井 理恵子 草 信和世 柳澤 安雄 芳原(近藤)光江	松井 洋 福士 顕士 尾見 敦子 田中 孝一 原田 耕平 向野 光	藤原 昌樹 正司(藤田)節子 西川 将巳 二上 政夫	坂口 早苗 今井 久美子 大坂 佳保里 小野崎 康裕 坂口 武洋 林 正之 永嶋 久美子 渡邊 昭彦	<small>副学長</small> 西川 誠 戸澤 純子 高山 啓子 田中 実 丹治 朋子 寺本 久男 西岡 祥文 藤井 信行		
小計	4	3	8	3	4	6	4	8	8	0	48
准教授	篠田(小泉)朝子	辻 浩和 松尾(辻)明日香	桂 瑠以	眞田 尊光 須山(山名)順子	今泉(菅井)洋子 近藤 千草 竹内 啓	松井 浩 高橋 裕子 矢田 訓子			小堀 貴亮		
小計	1	2	1	2	3	3	0	0	1	0	13
講師	倉林 直子	中園 有希		及川 祥平 千野 裕子	江村 綾野 手塚 崇子 古屋朝映子	松本 祐介	佐久間 美穂	荒井 恵美子 齋藤 美重子			
小計	1	1	0	2	3	1	1	2	0	0	11
助教	マクシム・シャハリン シャーロット・コフ		佐藤 哲康								
小計	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
助手					松原 安代			浮田 郁恵 甲山 恵美 依田 菜那子		西村 知香	
小計	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	5
合計	8	6	10	7	11	10	5	13	9	1	80

平成29年度 教員の学位・業績等

文学部 国際英語学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
菱田 信彦	国際英語	教授	筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得退学	修士(文学)	イギリス小説	英米児童文学、文学批評理論	国際コミュニケーション(イギリス研修)	イギリス文化史(1)、(2)	「メアリー・ノートンの『小人たち』シリーズにおける女性のリテラシー」、『Tinker Bell』(日本イギリス児童文学学会)59, 43-56, 2014.	『快読「赤毛のアン」』、彩流社(フィギュール彩15), 2014.	「アクション・リサーチを活用した高等学校における英語プレゼンテーションの学習」、『川村学園女子大学研究紀要』28(1), 15-31, 2017.	「従順なエルフと抵抗するゴブリン:『ハリー・ポッター』シリーズの魔法種族における価値の逆転」、『東京女子大学比較文化研究所紀要』78, 59-76, 2017.
W・キスチャック	国際英語	教授	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻	修士(文学)	シーラ・ワトソン研究	能楽研究	卒業研究(パフォーマンス)	EIA. II (English in Action)	シーラ・ワトソン Rough Answerの試訳及びワトソンの年譜, 川村英文学第8号, 2003年3月	シーラ・ワトソン Brother Oedipus-a story-の試訳, 川村英文学第9号, 2004年3月	シーラ・ワトソン研究 The Black Farm-A Modern Allegory-の試訳, 川村学園女子大学研究紀要第16巻第1号, 2005年3月	シーラ・ワトソン研究-短編 Antigoneの試訳-、川村学園女子大学研究紀要第17巻第1号, 2006年3月
小山 久美子	国際英語	教授	日本女子大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程後期単位取得満期退学	文学修士	言語学	英語教育	言語学入門	英語科教育法	『英語学用語辞典』(共)三省堂, 1998年	「英語における分裂文-新聞英語の場合-」(単)『川村学園女子大学研究紀要』第10巻, 2003年	「広告における比喩的表現」(単)International Journal of Pragmatics vol. XVI, 2006年	「There構文の諸相と言語材料としての中学校英語教育における展開」(単)『川村学園女子大学研究紀要』第28巻, 2017年
長島 一比古	国際英語	教授	青山学院大学大学院文学研究科英米文学専攻	文学修士	イギリス詩(イギリス・ロマン派を中心に)		英文法	インターナショナル・プログラム	「ブレイクの『ティリエル』における無垢と経験対立と否定の関連において」『川村英文学』第18号 2013	「『アルビオン』の娘たちの幻想』における愛と性の解放 対立と否定との関連において」『川村英文学』第13号 2007	「ブレイクのヴィジョンにおける子どもと喜び 「はじめのうた」における強弱格の用法」『川村学園女子大学研究紀要』第16巻 第2号 2005	「ブレイクのヴィジョン 想像力と永遠の实在」『川村学園女子大学研究紀要』第15巻 第2号 2004
小泉 朝子	国際英語	准教授	早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学	文学修士	イギリス小説・イギリス文化	英語教育	国際文化特講I	国際コミュニケーション特講IV	「オスカー・ワイルドの『ヴェラ』---イギリスと日本における作品受容と社会的背景」(単)『比較文学』44号, 2002年	『エフェクティブリーディング1』(共)成美堂, 2007年	「ホーソーとギヤスケル---墮ちた女の表象をめぐって」『フォーラム』14号, 23-39, 2009年	『デリダと歴史の終わり』(スチュアート・シム著の翻訳(単)), 岩波書店, 2006年
倉林 直子	国際英語	講師	津田塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	修士(文学)、MA (History, University of Virginia)	アメリカ史	日米関係史	アメリカ文化史	国際関係入門	「日米文化交流をめぐる協調と摩擦 1960年歌舞伎のアメリカ公演を一例として」アメリカ史研究、第40号、2017年8月	「ポスト講和期の日米関係と文化---ジョシュア・ローガンの活動を中心に---」津田塾大学紀要第49号、2017年3月	「リチャード・ニクソンのイメージ戦略とその効果」津田塾大学紀要 第46号、2014年3月	「駐留米軍をめぐる政府と議会の関係---ジラード事件への対応を中心に---」麗澤大学紀要 第93巻、2011年12月
シャーロット・ゴフ	国際英語	助教	オックスフォード大学セントキャサリズ・カレッジ大学院	修士(中世研究)(M.St.)	歴史学(中世研究)	宗教学	美学(1)	女性文化史(1)(2)	10世紀前後のスカンジナビア半島における女性の信仰や宗教的活動について修士論文を提出(平成25年6月)	『東京ジャーナル』、『ソウルジャーナル』、『ファッション・ワン』などの雑誌、インターネットメディアにおいてファッション関連などの記事を執筆(平成26年3月~6月)		
マクシム・シャハリ	国際英語	助教	オックスフォード大学、マートン・カレッジ、東洋研究所	文学博士(D.Phil.)	東洋研究	国際政治学	日本の政治と国際社会(1)(2)	海外から見た日本(1)(2)	第2回ヨーロッパ日本研究ラウンドテーブル「北東アジア安全保障再考」(イギリス、シェフィールド大学)に参加(平成20年3月)	イギリス日本研究協会年次大会(イギリス、マンチェスター)にて口頭発表(平成20年4月)	日本政治学コロキウム年次大会(イギリス、リーズ大学)にて口頭発表(平成20年9月)	ワークショップ「なぜ(いまだに)日本は重要なのか」(イギリス外務・コモンウェルス省およびシェフィールド大学)において、日本とロシアの関係について報告(平成21年4月)

平成29年度 教員の学位・業績等

文学部 史学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
高津 純也	史学	教授	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻修了	博士(文学)	中国古代史	中国思想史, 中国古文字学	アジア史研究入門(1)	アジア古代文明論	『水経注疏訳注(渭水篇)』, 共著, 財団法人東洋文庫, 上巻2008年, 下巻2011年	『『尚書』諸篇の成立に関する一考察—戦国諸国における同時並行的な成書について—』, 単著, 『史学雑誌』第116編11号, 2007年	『地下からの贈り物—新出土資料が語るいにしえの中国—』, 共著, 東方書店, 2014年	『荀子』『禮記』引書再考—楚簡本「緇衣」の出現を踏まえ—』, 単著, 『中國出土資料研究』第16号, 2012年
金尾 健美	史学	教授	パリ第4(ソルボンヌ)大学歴史学研究科 博士課程修了	博士(歴史学)パリ第4大学	西洋中世史	西洋経済史	西洋史演習(1)	西洋古代・中世史	(学術論文)1998~2010年, 単著「ヴァロワ家ブルゴーニュ公フィリップ・ル・ボンの財政(1)~(7)』『川村学園女子大学研究紀要』vol.9 (1998)No.1 pp.39-75. vol.17(2006)No.1 pp.1-28. vol.18(2007)No.1 pp.1-38. vol.19(2008)No.1 pp.15-43. vol.20(2009)No.1 pp.1-51. vol.21(2010)No.1 pp.79-102. vol.22(2011)No.2 pp.207-223.	(学術論文)2015年, 共著, “La Levée d’Argent dans le Duché de Bourgogne en 1421 d’après le compte du Bailliage d’Auxois” TOUBERT, Pierre pr é face, Dominique BARTHELEMY, Jean-Loup LEMAITRE, 加納修 他30名 < Entre texte et histoire. Etudes d’histoire m é di é vale offertes au professeur Shoichi Sato > De Boccard, 所収pp.157-182.	(学術論文)2007年, 単著 “Monnaie et politique monétaire dans les lettres rédigées à Dijon en 1420” 佐藤彰一 編『歴史・地図テキストの生成テキスト/コンテキスト2』21世紀COEプログラム:「統合テキスト科学の構築」第10回国際研究集会報告書 pp.49-59 およびpp.101-109.	(学術論文)2015年, 単著「アンジュー地方ラソレーイ村地代帳の読解—ロブリエール家文書の解明に向けて—」『川村学園女子大学研究紀要』vol.26(2015)No.1 pp.29-53.
生井澤 幸子	史学	教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程単位取得満期退学	理学修士(東京大学)	都市地理学	交通地理学, 経済地理学	地理学概説(都市と自然環境・流通地理学)	地誌学(日本・ドイツ)	(共訳2人)図説大百科世界の地理, 全22巻, 18.『南部アフリカ』朝倉書店, 普及版, 2010年	(共編著)『海と空の港大事典』成山堂, 2011年 (共著)『人文地理学事典』丸善, 2013年	(共著)『拡大EUとニューリージョン』, 原書房, 2012年	(共著)『世界地理講座 中央・北ヨーロッパ』朝倉書店, 2014年
辻 明日香	史学	准教授	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻修了	博士(文学)	西アジア史		アジア史概論(2)	アジア史研究入門(2)	(共著)“Wearing the Blue Turban Again: Christian Reconversions in Mamluk Egypt,” in Katsumi Fukasawa et al. (eds.), Conflict and Reconciliation among Confessions and Religions, London: Routledge, 2017.	(共著)“Preliminary Report on Four saints from the Mamluk period: Hadid, Yuhanna al-Rabban, Barsauma al-Uryan, and ‘Alam,” in Paola Buzi et al. (eds.), Coptic Society, Literature and Religion from Late Antiquity to Modern Times: Proceedings of the Tenth International Congress of Coptic Studies, Rome, September 17th-22nd, Louvain: Peeters, 2016.	『コプト聖人伝にみられる十四世紀エジプト社会』山川歴史モノグラフ, 山川出版社, 2016年。	「11世紀後半—14世紀下エジプトにおけるキリスト教徒集落の消長」『日本中東学会年報』第31-2号(2016年3月)。
辻 浩和	史学	准教授	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了	博士・人間・環境学	日本中世史	芸能史	日本史研究入門(2)	日本史概説(1)	『中世の(遊女) 生業と身分』(単著)京都大学学術出版会, 2017	『知っておきたい歴史の新常識』(共著)勉誠出版, 2017	『新興芸能の流行と貴族社会への定着過程—歴史的観点から』(『藝能史研究』210, 2015)	『室町期芸能史研究の現在』(『歴史評論』767, 2014)
中園 有希	史学	講師	東京大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学	修士(教育学)	教育学	教科書研究	教育方法学	教育課程論	中園有希「デジタル歴史教科書『mBook』の教授学的特徴について」『学習院大学文学部研究年報』, 第63輯, 2017年	中園有希「コラム:ドイツの初等学校の女性化と学力低下をめぐる議論」, 浅井幸子ほか編著『教師の声を聴く—教職のジェンダー研究からフェミニズム教育学へ』学文社, 2016年	中園有希「近年のドイツにおける教科書開発の動向—小学校算数教科書の比較から」『学習院大学文学部研究年報』, 第62輯, 2016年	中園有希「ドイツにおける小学校教師の男女比不均衡をめぐる議論の検討」『学習院大学教育学・教育実践論叢』, 第2号, 2015年

平成29年度 教員の学位・業績等

文学部 心理学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
鶴沼 秀行	心理	教授	早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程(単位取得退学)	博士(教育学)	知覚心理学	認知心理学	心理統計法(1)(2)	基礎実験実習(1)(2)	【著書】対象の認識における情報の時間空間的統合と知覚的表象の形成, 単著, 早稲田大学出版会, 2013	【著書】改訂版はじめての心理統計法, 共著, 東京図書, 2016	【学術論文】Spatiotemporal integration and contour interpolation revealed by a dot localization task with serial presentation paradigm, 共著, Wiley Blackwell 日本心理学会, Japanese Psychological Research, 2010	【学術論文】Facial features in perceived intensity of schematic facial expressions, 共著, Ammons Scientific, Perceptual and Motor Skills, 2010
北原 靖子	心理	教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科	文学修士	発達心理学	発達臨床	発達心理学特殊講義	生涯発達心理学	(著作)(分担)教育相談—子どもの理解とカウンセリング—, 大学図書出版, 2012	(報告書)(分担)子どもの意思決定能力を育成する支援ツールの開発, 平成26~28年度科学研究費補助金基盤研究(C)報告書, 2017	(論文)(共著)軽度発達障害の思春期支援について考える—二次的障害を予防してゆくために—(2009)川村学園女子大学心理相談センター紀要, 5, 55-68	(プロジェクト研究講演)高齢者支援活動場面の環境づくり—コミュニケーションの視点から—(2015)立命館大学人間科学研究所 インクルーシブ社会研究8, 10-39.
岩崎 利彦	心理	教授	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻博士前期課程 修了	修士(スポーツ健康科学)	スポーツ社会学		スポーツ(2)	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅢ(2)				
田中 裕	心理	教授	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程	博士(心理学)	生理心理学		生理心理学(文学部心理学専攻専攻科目)	生理心理学特講(大学院心理学専攻専攻科目)	Yu TANAKA, Takenobu OHISHI, Etsuko HAYASHI, Rumiko KATO, Hideoki TADA (2013)【共著】Eyeblick as a formative assessment technique for people with profound multiple disabilities Journal of Policy and Practice in Intellectual Disabilities Vol. 10, pp. 174.	田中裕(2009b)学習と条件づけと動機づけ【共著】『社会福祉学習双書』編集委員会(編) 社会福祉学習双書2009 第11巻 心理学 第1章第5節 全国社会福祉協議会出版部 pp.25-29.	田中裕(1999)【単著】覚醒水準と瞬目活動 心理学研究 Vol.70 pp.1-8.	田中裕(2002a)【単著】視覚作業休息下における随意性瞬目の効果 川村学園女子大学研究紀要, 第13巻 第1号 pp.159-168.
蓮見 元子	心理	教授	東京大学大学院教育学研究科教育心理学専門課程博士課程単位取得満期退学	教育学修士	発達心理学	発達臨床心理学	発達心理学概論	心理学演習	【著書】子どもの発達過程と心理臨床, 単著, 宣協社, 2001年4月	【学術論文】放課後子ども教室について児童の声を聴く—タッチパネル式パソコンを使って—2009年3月, 共著, 川村学園女子大学研究紀要	【学術論文】子どもの心理相談事例における見立て—「絵」「遊び」「語り」を通して— 2009年3月, 共著, 川村学園女子大学心理相談センター紀要	【著書】教育相談—子どもの理解とカウンセリング—, 共著, 大学図書出版, 2012
松原 由枝	心理	教授	大正大学大学院人間学研究科臨床心理学専攻修士課程(前大正大学カウンセリング研究所カウンセリング技能修士課程)	博士(文学)	臨床心理学	深層心理学, カウンセリング, 芸術療法	臨床心理実習(大学院)	臨床心理学特講(大学院)	心のケアのためのカウンセリング大事典(共著)(培風館, 2005)	ソندی・テスト—心理臨床に生かす活用法(単著)(培風館, 2009)	カウンセリング心理学(共著)(培風館, 2009)	ソندی・テストマニュアル(千葉テストセンター, 2011)
養下 成子	心理	教授	筑波大学大学院博士課程医学研究科卒業	博士(医学)	臨床心理学	犯罪心理学	非行・犯罪心理学(学部)	臨床心理面接法特講(大学院)	.1, 編集:小田晋, 編集協力:佐藤親次, 森田展彰, 司法精神医学と精神鑑定, pp.107-146 (第IV章 精神鑑定における心理テスト), 医学書院, 平成9年 4月,	養下成子, 小島秀悟, 佐藤親次, 表情認知の精神病理学的研究, 脳の科学, Vol22. 2, pp.177-181, 2000.	養下成子, 森田展彰, 佐藤親次, 浅井義弘, 統合失調症患者における表情認知と社会適応度の関係—能面テスト(Noh Mask Test)を用いて— 社会精神医学雑誌 12(3)253-261, 2004.(Minoshita S, Morita N, Satoh S, Asai Y. Relationships between facial expression recognition and social adjustment in schizophrenia. -The Noh mask Test as a social skill assessment- Japanese Bulletin of Social Psychiatry 12(3)253-261, 2004.)	Minoshita S, Morita N, Yamashita T, Yoshikawa M, Kikuchi T, Satoh S, Recognition of affect in facial expression using the Noh Mask Test: Comparison of individuals with schizophrenia and normal controls. Psychiatry and Clinical Neurosciences ,59, 1, 2005, pp.4-10.
矢野 重典	心理	教授	京都大学法学部	法学士	教育行政学	教育法学	生涯学習概論	教育法規	「講座 地教法」(文部省地方課「教育委員会月報」)1984年, 2月, 4月, 6月号	教務ハンドブック(共同執筆), 文部省教職研究会編, 1985年	学校経営ハンドブック(共同執筆), 文部省教職研究会編, 1986年	「これからの地方教育行政への期待」(文部省地方課編「教育委員会月報」)2004年, 4月
桂 瑠以	心理	准教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科	博士(人文科学)	社会心理学	教育心理学	社会心理学概論	コミュニケーション論	【著書】新しい教育相談論, 共著, 武蔵野美術大学出版, 2016	【著書】メディアとパーソナリティ, 共著, ナカニシヤ出版, 2011	【学術論文】ウェブ日記の執筆量が精神的健康に及ぼす影響—媒介効果を検討したパネル調査—, 共著, 応用心理学研究, 40, 177-185., 2014	【学術論文】The effect of mobile phone use on communication between parents and children: A panel study examining causality, 共著, Ochanomizu University Global COE Program English Monograph, Proceedings, 2012
佐藤 哲康	心理	助教	立正大学大学院文学研究科哲学専攻博士後期課程(単位取得満期退学)	修士(文学)	臨床心理学	カウンセリング心理学	青年心理学(学部)	臨床心理基礎演習(大学院)	【単著】小学生の日常生活と心理的適応-宿泊通学参加後に見られた変化-, 川村学園女子大学研究紀要, 第28巻1号, pp.203-209, 2017	【分担】心理統計の基礎, 松原達哉・楡木満生・田上不二夫(編), カウンセリング心理学ハンドブック[実践編], 金子書房, 2011.	【単著】消極的な対人関係を取る大学生へのREBTアプローチを介入に用いたアサーション・ロールプレイング, REBT研究 1巻, pp.29-42, 2010.	【共著】待つ相談室から働きかける機能を包括した学生相談室への展開, 学生相談研究 29号 2巻, pp.153-165, 2008.

平成29年度 教員の学位・業績等

文学部 日本文化学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
熊谷 園子	日本文化	教授	青山学院大学大学院文学研究科	文学修士	イギリスロマン主義	英米詩	国際文化特講(英米詩)		“Mont Blanc”－Shelleyの汎神論的不可知論、単著、川村英文学3号、1998	シェリーとアイルランド－crisisの意識を巡って、単著、英語青年、第140巻7号、研究社、1994	ポール・マルドゥーンとの出会い、単著、国文社、1994	バイロンとエルギンマープルス、単著、イギリスロマン派研究16号、1992
長崎 靖子	日本文化	教授	日本女子大学大学院文学研究科日本文学専攻博士後期課程修了	博士(文学)	日本語学	日本語史	日本語学	日本語の歴史	〔著書〕『断定表現の通時的研究—江戸語から東京語へ—』、単著、武蔵野書院、2012	〔著書〕『大東急記念文庫所蔵 式亭三馬自筆『雑記』影印と翻刻』、編著、武蔵野書院、2016	『『浮世風呂』三編序文の変更に關して—吾山から半二へ—』、単著、『近代語研究』第19集、武蔵野書院、2016	『高等学校における古典文法の指導法に關して—「古典B」所収『枕草子』『すさまじきもの』を例として—』、『会誌』第34号、2017
内海崎 貴子	日本文化	教授	上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得満期退学	文学修士	教育学(人権教育/ジェンダー平等教育)	女性学	教育原理	女性学	〔著書〕『迷惑なひと・ことは教育の救世主—事例から学ぶ教育の方法論』共著、あいり出版、2013年	〔著書〕『新・教職入門』共著、学文社、2014年	〔著書〕『教職のための教育原理』編著、八千代出版、2015年	〔著書〕『教職のための道德教育』編著、八千代出版、2017年
真田 尊光	日本文化	准教授	高野山大学大学院文学研究科密教学専攻博士後期課程修了	高野山大学：博士(密教学)・修士(密教学)、早稲田大学：修士(文学)	仏教美術史	日本美術史	日本の美術(1)	日本の美術(2)	「唐招提寺伝衆宝王菩薩立像・伝獅子吼菩薩立像の造立意図」(『佛教藝術』第343号、毎日新聞社、2015年)	「大安寺伝馬頭観音立像の周辺」(『奈良美術研究』17号、早稲田大学奈良美術研究所、2016年)	「千住と美術—船津文淵閣連資料もあわせて—」(『文化遺産調査特別展「美と知性の宝庫 足立」図録』、足立区立郷土博物館、2016年)	(共著)『芸術教養シリーズ2 日本の芸術史造形篇Ⅱ 飾りと遊びの豊かなかたち』(藝術学舎、2013年)
山名 順子	日本文化	准教授	お茶の水女子大学大学院博士後期課程人間文化研究科修了	博士(人文科学)	日本文学(近代/近世)	国語科教育	日本文化専門演習Ⅲ(日本近代文学)	国語科教育法Ⅲ、Ⅳ	「国語科における〈文部省唱歌〉および〈伝統的な年中行事〉の利用の研究—中学校における実践研究を通じて—」、『子どもを取り巻く家庭・教育・環境をめぐる研究』、川村学園子ども学研究所、2016.01	「山東京伝の読本・合巻における挿絵の変遷—『梅花水裂』から『磯馴松金糸腰蓑』へ—(剛悪の趣意)を軸として—」、『読本研究新集』、読本研究の会、第8集、2016.07	「〈文学作品〉としての『少年の日の思い出』利用の研究—中学校における実践研究を通じて—」、『人文科教育研究』、人文科教育学会、第43号、2016.09	「中島敦『山月記』を読む—時代をみつめる作者の眼—」(二)、『川村学園女子大学研究紀要』第28巻、川村学園女子大学、2017.03
及川 祥平	日本文化	講師	成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻 博士課程後期	博士(文学)	民俗学(民俗宗教論)	民俗学(現代民俗論)	日本の宗教と思想(1)(2)	日本の祭りと儀礼	『偉人崇拜の民俗学』(単著)勉誠出版、2017	「地域史を根拠とする自治体間交流の諸相—交流締結経緯の分析から」、『グローバル研究』3号、成城大学グローバル研究センター、2016	「祭礼的なる場における歴史表象と偉人表象—山梨県下の祭礼・イベントにおける状況を中心に」、『信濃』67巻1号、2015	「武田信玄祭史考—近世・近代を中心に」、『日本民俗学』268号、2011
千野 裕子	日本文化	講師	学習院大学大学院 人文科学研究科日本語日本文学専攻 博士後期課程 単位修得退学	博士(日本語日本文学)	中古文学	物語文学	古典文学を読む(1)(2)	王朝の文化と文学(2)	「『狭衣物語』を斜行する者—大貳の乳母をめぐる—」(井上眞弓編『狭衣物語 文学の斜行』2017年5月)	「『狭衣物語』と『源氏物語』夕霧巻—一品宮物語を中心に—」(『日本文学』第64巻9号、日本文学協会)2015年9月	「『狭衣物語』と陸奥の合戦—飛鳥井女君物語から—」(『物語研究』第15号、物語研究会)2015年3月	「飛鳥井女君の〈文目〉をなす脇役たち」(井上眞弓・乾澄子・鈴木泰恵・萩野敦子編『狭衣物語 文の空間』翰林書房)2014年5月

平成29年度 教員の学位・業績等

教育学部 幼児教育学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
永井 理恵子	幼児教育	教授	東京大学大学院教育学研究科教育学専攻 学校教育開発学コース 第一種博士課程満期修了	博士(教育学)、修士(文学)	幼児教育史(幼稚園教育実践史)	幼稚園教育環境	教育原理、教育史、教職の研究、卒業研究、卒業研究演習	保育内容研究「環境」	著書『近代日本幼稚園建築史研究』学文社、平成17年(2005)(単著)	著書『近代日本キリスト教主義幼稚園の保育と園舎』学文社、平成23年(2011)(単著)	著書『新現代保育原理』三晃書房、平成21年(2010)(共著)	著書『新保育ライブラリ教育原理』三晃書房、平成21年(2010)(共著)
柳澤 安雄	幼児教育	教授	東京芸術大学大学院音楽研究科音楽専攻 修士 課程修了	芸術学修士(音楽)	音楽	音楽	音楽 I	弾き歌い演習(1)	【単著】●CD柳澤安雄(バス・バリトン)「ロシアの叙情をうたう」、単、1990、ビクター音楽産業 ●CD柳澤安雄(バス・バリトン)「ロシアの叙情をうたうII」、単、1993、ビクター・エンターテインメント	【研究報告】小学校教員養成における「コミュニケーション能力」を高める教科教育法に関する研究報告、第二章 小学校教科教育法の試みより、7-1 音楽科の指導、2011年9月、教員養成研究会、	【演奏】●歌劇「椿姫」全曲公演、共、1999年、イタリヤ・テラモ市立歌劇場、ジョルジョ・ジェルモン役(父親:柳澤安雄) ●2013年12月音楽物語『ぞうのババール』(ブランク作曲)柳澤安雄朗読、山梨県立大学第7回子育て支援フォーラム(ピアノ:村木洋子)	【演奏】●二期会創立60周年記念公演、第7回二期会研究会駆伝コンサート(2012年、東京文化会館) ●2012年9月オペレッタ「こもり」(ブランク役)さいたまシテリオペラ、第21回公演、さいたま市文化センター ●2014年3月オペラ「ランメルモールのルチア」イタリヤ語公演、(ライモンド役)IMAホール、2016年7月、オペラ「サンドリヨン」(J. マスネ)父親/パンドルフ役、日本語公演、東京シテリオペラ協会公演、2017年9月オペラ「アメリア舞踏会へ行く」(警察署長役)さいたまシテリオペラ第25回公演、
草信 和世	幼児教育	教授	明星大学大学院人文学研究科教育学専攻	修士(教育学)	児童学	保育学	保育内容人間関係の指導法	保育の方法と技術	【論文】現代における保育者の専門性に関する一考察—子どもと響き合う保育者の身体知を求めて—、共著、保育学研究第47巻第2号	【著書】保育における感情労働、共著、北大路書房	【著書】児童文化がひらく豊かな保育実践、共著、保育出版社	【著書】幼稚園実習ガイドブック—実習の中で磨かれる“技と心”—、共著、新読書社
近藤 光江	幼児教育	教授	日本大学大学院芸術学研究科音楽専攻 修士課程修了	芸術学修士	音楽	音楽	音楽 I	幼児音楽指導法(3)(歌唱法)	【研究紀要】「歌曲と歌唱法」についての一考察、チェコ編、その1、ドヴォルジャークの歌曲《民衆の音色風に》川村学園女子大学研究紀要第12巻第2号、P.115-135、2001年3月	【研究紀要】日本における音楽教育の歴史とその変遷、川村学園女子大学研究紀要第18巻第2号、P.133-157、2007年3月	【演奏活動】日本オペラ協会「創立50周年記念演奏会」日本歌曲とアリアによる、2008年6月14日、津田ホール	【コンクール】第11回全国「叱られて」歌唱コンクール、受賞者による音楽会、2009年9月12日、和光市民文化センターサンアゼリア大ホール
菅井 洋子	幼児教育	准教授	日本女子大学大学院人間生活学研究科人間発達学専攻博士課程後期修了	博士(学術)	発達心理学	乳幼児教育学	発達心理学	保育内容言葉の指導法	【著書】菅井洋子、2012、単著、乳幼児期の絵本場面における共同活動に関する発達研究、共同注意の指ししからの探究、風間書房	【論文】菅井洋子、単著、保育所における乳幼児期の絵本場面に関する発達研究:保育士への質問紙調査からみる3歳未満クラスの特徴を中心に、川村学園女子大学研究紀要、22(1)、227-250	【論文】菅井洋子、2011、単著、乳児期の読書環境構成に関する発達研究:絵本場面における母子の共同注意の指ししをめぐる発達の発達変化:積木場面との比較による縦断研究、発達心理学研究、21、46-57	【論文】菅井洋子・秋田喜代美・横山真貴子・野澤祥子、2010、共著、乳児期の絵本場面における母子の共同注意の指ししをめぐる発達の発達変化:積木場面との比較による縦断研究、発達心理学研究、21、46-57
近藤 千草	幼児教育	准教授	青山学院大学大学院文学研究科 教育学専攻 修了	教育学修士	教育学	幼児教育学	保育原理	保育内容健康の指導法	「保育者養成における「ひと・もの・こと」に出会う体験型学習プログラムに関する実証的研究—プログラムを通じたメタ認知の形成に向けて—」(単著) 保育士養成研究、第31号、(2014)	「近年における保育・幼児教育の研究動向について」(単著) 日本教師教育学会課題研究 I 研究報告 第一集(2016)	「保育者養成におけるホリスティック・カリキュラムに関する一考察」(単著)、ホリスティック教育研究、第16号(2013)	「保育者養成校における女子学生の職業意識に関する考察」(単著)、川村学園女子大学女性学研究所、女性学年報第6号(2015)
竹内 啓	幼児教育	准教授	東京芸術大学大学院美術研究科 日本画専攻 修士課程 修了	芸術学修士(美術)	美術	日本画	図画工作	幼児造形指導法	【展覧会】「遺跡の空—竹内啓展」日本橋高島屋X画廊、東京、2012	【展覧会】「ジヨモニスムⅡ展」御所野縄文公園博物館、岩手、2011	【共著】「弥生誌—向岡記碑をめぐって」pp90-91、東京大学総合博物館、2011	【展覧会】「スサノヲの到来—いのち、いかり、いのり」足利市立美術館ほか、2014~2015
手塚 崇子	幼児教育	講師	専修大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学	博士(経済学)	保育行政・財政	社会保障(子ども)・地方財政	現代社会と経済(1)	保育実習(施設)	【著書】手塚崇子(2014)「幼児一体化施設の運営と行財政—就学前教育・保育の一元化をめぐって—」(単著)専修大学出版局	【論文】手塚崇子(2016)「社会連帯における子育て支援の役割機能—幼稚園・保育所・認定こども園の役割機能」(単著)『公募研究シリーズ 52』全労済協会	【論文】手塚崇子(2014)「幼保連携型認定こども園の行財政と経営:過疎地M町を事例として」(単著)『川村学園女子大学研究紀要』第25巻第2号、51-70頁	【論文】手塚崇子(2010)「旧公立幼稚園と幼保一体化施設の財政比較—群馬県六合村「六合こども園」を事例として—」(単著)『乳幼児教育学』第19号、日本乳幼児教育学会、121~132頁
古屋 朝映子	幼児教育	講師	筑波大学大学院一貫制博士課程人間総合科学研究科スポーツ医学専攻(修士取得退学)	修士(スポーツ医学)	コーチング学	体操コーチング論	体育 I・II	幼児体育指導法 I・II	【論文】「乳幼児を持つ母親における子どもの運動遊びに関する危険認識についての一考察」(単著)『川村学園女子大学研究紀要』28巻2号、川村学園女子大学、pp.37-48(2017)	【論文】「震災避難者の語りからみる体操教室参加の意味づけ—福島県双葉町から茨城県つくば市への避難者の事例から—」(共著・筆頭)『コーチング学研究』29巻2号、日本コーチング学会、pp.139-148(2016)	【論文】「幼児の自発的な動きを引き出す用具に関する事例研究—使用方法を示さない遊具「ピリボ」に着目して—」(共著・筆頭)『体操研究』11巻、日本体操学会、pp.1-9(2014)	【論文】「高齢女性の転倒経験および転倒不安感に関連する体力」(共著・筆頭)『厚生指針』60巻15号、厚生労働統計協会、pp.17-22(2013)
江村 綾野	幼児教育	講師	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科	修士(人文科学)	子育て支援実践研究	保育・幼児教育	保育実習・保育実習演習	保育内容演習	江村綾野(2016) 現代社会と子育て、子育て太田光洋編著 保育・教育相談支援、建帛社、1-9	江村綾野(2015) 3歳未満の子どもを育てる専業主婦の罪障感が対児感情に及ぼす影響、人間文化創成科学研究科論叢、17、121-131	江村綾野・鈴木幸子(2015) キリスト教主義の保育園における保育士の役割と宗教意識の関連、キリスト教教育論集、23、55-63	江村綾野(2013) 子ども、家族と保育者、お茶の水ヒューマンライフシステム研究会編、家族と生活:これからの時代を生きる人へ、創成社、95-104

平成29年度 教員の学位・業績等

教育学部 児童教育学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
松井 洋	児童教育	教授	青山学院大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程	文学修士	社会心理学	文化心理学	教育心理学(教職科目)	社会病理学(大学院人文科学研究科心理学専攻科目)	松井洋2014大学生の世界観・人間観・自己観と幸福感, 川村学園女子大学研究紀要, 第25巻, 85-106.	松井洋2013若者の世界観と適応, 川村学園女子大学研究紀要, 第24巻, 107-129.	松井洋2012大学生の大学適応に関する研究Ⅲ(共著)川村学園女子大学研究紀要, 第23巻 第1号, 117-129.	松井洋2005非行的態度の抑制因に関する社会心理学的研究(共著)季刊社会安全, No.57 18-25. (財)社会安全研究財団
福士 顕士	児童教育	教授	北海道大学大学院理学研究科化学第二専攻博士課程	理学博士	物理化学	認知科学	理科	理科教育法	【著書】理科年表をおもしろくする本, 共著, 丸善, 1999	【報告書】教育課題研修指導者海外派遣プログラム報告書「理数系教育」ブルガリア(1-1回), 共著, 独立行政法人教員研修センター, 2008	A group theoretical model of symmetry cognition, 共著, Acta Psychologica Vol. 171 pp. 128-137, 2016	パターンの良さ判断に与える準変換群構造の効果, 共著, 情報処理学会論文誌 54(9) 2254-2264頁, 2013
尾見 敦子	児童教育	教授	お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科単位取得満期退学	教育学修士	音楽教育学	幼児教育	音楽科教育法	音楽	尾見敦子(2017) ハンガリーの幼稚園・小学校の音楽教育における伝承の歌遊びの意義, 川村学園女子大学研究紀要, 第28巻, 第2号, 67-84.	尾見敦子(2015) 諸外国に見る音楽教育における「幼小接続」—フィンランドとハンガリーの事例から—, 川村学園女子大学研究紀要, 第26巻, 第2号, 43-62.	尾見敦子(2013) コダーイ・コンセプトに基づく音楽非専攻学生のためのアカペラ合唱の教育実践, 川村学園女子大学研究紀要, 第24巻, 第2号, 15-31.	尾見敦子(2012) なぜ音楽の授業で読譜力が養われないのか—ハンガリーの音楽教科書が語るもの—, 音楽教育実践ジャーナル, vol.9, no.2, 56-66.
田中 孝一	児童教育	教授	兵庫教育大学大学院学校教育学研究科教科・領域教育専攻言語系コース	修士・学校教育学	国語科教育学	教育課程論	国語科教育法	国語	【単著】「国際社会が求めるこれからの能力」『アクティブ・ラーニングを取り入れた授業づくり高校国語の授業改革』共著 明治書院 pp.10-16, 2016年	【単著】「2030年の社会を生きるための資質・能力—生涯学習, 教育課程, 言語能力—」『これからの時代に求められる資質・能力の育成とはアクティブな学びを通して』共著 東洋館出版社 pp.15-18, 2016年	【著書】『新評価規準を生かす授業づくり 小学校編』編共著 ぎょうせい 2011年	【単著】『新教育課程の軸となる言語能力の育成と言語活動の充実』『新教育課程とこれからの研究・研修』共著 ぎょうせい pp.49-59, 2017年.
原田 耕平	児童教育	教授	筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻	教育学修士(筑波大学)	数学教育学	比較教育学	算数科教育の理論と方法(大学院教育専攻専修免許科目)	比較教育学専門研究演習(大学院比較文化専攻後期課程専門科目)	【学術論文】学校数学における子どものmisconceptionの同定と克服(単著), 日本数学会学術誌論究, Vol.55, pp.3-16, 1992.	【学術論文】The effects of using Cabri-Geometry in Geometrical Proof-Problem Solving —France-Japan Collaborative Research—(in collaboration), Journal of Science Education in Japan, Vol.21, No.3, pp.172-182, 1995.	【学術論文】幾何の証明問題の解決を支援するカブリ・ジオメトリの利用(単著), 日本科学教育学会20周年記念論文集, pp.285-292, 1996.	【著書】『生徒の考えを活かす問題解決授業の創造』(共著), 明治図書, 1999
高橋 裕子	児童教育	准教授	京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術環境専攻修士課程	芸術修士	生活造形	被服構成	クラフト	生活の美学	「家庭科における実践的な学習教材の工夫—新学習指導要領に移行する教育現場の現状を踏まえて—」単著, 川村学園女子大学研究紀要, 第28巻, 第3号, 111-124頁	「意匠家としての山東京傳—『手拭合』にみる意匠の特徴(1)—」単著, 川村学園女子大学研究紀要, 第25巻, 第2号, 247-266頁	日本伝統手工芸 第16回 巧技ソサエティ美術展 <奏炎> 東京都議会議長賞受賞	「巧の技・極みの煌めき」共著, (株)美術年鑑社発行
矢田 訓子	児童教育	准教授	東北大学大学院教育学研究科 博士課程満期退学	修士(教育学)	教育思想	教育哲学	教育原理	社会科教育法	「C. テイラーの共同体論におけるアイデンティティ—『日常生活の肯定』の再評価を通して—」『教育思想』, 第34号, 東北教育哲学教育史学会, 平成21年3月22日刊行	「相補的人間関係における教育の可能性—西洋における宗教生活の取り戻しの歴史—」『近代教育フォーラム』, 第19号, 教育思想史学会, 平成22年9月19日刊行	「共同体主義における『自己』の人間形成論的意味—共同体において見出される『自己』に関する—考察」『教育思想』, 第34号, 東北教育哲学教育史学会, 平成19年3月22日刊行	研究ノート「PISAの日本の義務教育制度への影響と今後の課題」東海大学課程資格教育センター 『東海大学課程資格センター論集』第14号, 平成28年3月5日刊行
松井 浩	児童教育	准教授	青山学院大学大学院理工学研究科経営工学専攻博士前期課程修了	工学修士, 工学士	情報科学	ネットワーク利用技術	情報処理(1)(2)	情報メディア演習	【著書】「MS-WORKS機能百科」単著, 技術評論社	【著書】「MS-DOSテキストデータ料理学」共著, 翔泳社	【著書】「PC-98全生活の知恵」共著, 翔泳社	【論文】計量経済分析用アプリケーションTSPのインストール, 単著, 青山コンピュータサイエンス, 青山学院大学情報科学研究センター
松本 祐介	児童教育	講師	筑波大学大学院博士後期課程体育科学専攻単位取得退学	修士(教育学)	体育科教育学	スポーツ教育学	体育科教育法	健康スポーツ論	小学校低学年の体育授業における捕球技能の習得—捕球動作の選択の学習とその効果—, (2013)スポーツ教育学研究, 33(2):1-13.	小学校低学年における捕球技能向上のための学習プログラムの開発—動作の選択と体幹の移動に着目して—, (2010)日本スポーツ教育学会第30回記念大会プロシーディングス, pp.132-138.	Development of an assessment rubric for catching skill of the ball coming to the front of the body. (2012)North East Asia Sport Pedagogy Conference (国立台湾師範大学)	小学校低学年における捕球動作の学習必要性—学習の有無による捕球動作の相違から—, (2015)川村学園女子大学研究紀要, 26(2):63-80

平成29年度 教員の学位・業績等

教育学部 社会教育学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
藤原 昌樹	社会教育	教授	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程 満期退学	修士(スポーツ健康科学)	スポーツ社会学	武道論	オリンピック論	ボランティア論	「スポーツボランティア養成事業の指針について」, 共著, 日本スポーツ産業学会第25回学会大会, 2016.	『小学校教員養成における「コミュニケーション能力」を高める教科教育法に関する研究』, 共著, 株式会社ワードオン, 2011.	「生涯スポーツと支援者」, 日本生涯教育学会編『日本生涯教育学会年報』第25号, 単著, 日本生涯教育学会, 2004.	『保健指導のすすめ方』(養護教諭のための実践教育保健学講座第11巻), 単著, 出版科学総合研究所, 1985.
藤田 節子	社会教育	教授	東洋大学社会学部応用社会学科図書館学専攻	学士(図書館学)	図書館情報学		図書館概論	情報サービス論	『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』(単著)日外アソシエーツ, 2009	『図書館活用術—情報リテラシーを身につけるために』新訂第3版(単著)日外アソシエーツ, 2011	図書館に関わる著作権法条項の成立の過程: 第30条私的使用のための複製と第31条図書館等における複製(単著)現代の図書館, 47(3), 2010, p.163-178	失われていくインターネット上の参考文献: 図書館情報学分野の雑誌論文に参照されたインターネット文献の入手可能性の分析調査(単著)情報管理, 53(9), 2010, p.493-503
西川 將巳	社会教育	教授	東京大学 医学部 医学科	学士(医学)、学士(文学)	心身医学	脳神経科学、臨床心理学	生理心理学特講(2)(大学院)	臨床心理学	α -[11C] methyl-L tryptophan-PET as a surrogate for interictal cerebral serotonin synthesis in migraine without aura. (共著), Cephalalgia. 34(3):165-73, Mar, 2014	心身相関の生物学的基礎研究領域の進歩, パニック障害の脳内機構. (単著), 「専門医のための精神科臨床リユミエール」第27巻, 中山書店, Aug, 2011	Alterations in brain serotonin synthesis in male alcoholics measured using positron emission tomography. (共著), Alcohol Clin Exp Res. 33(2):233-9, Feb, 2009	認知行動療法の脳科学. (単著), 心療内科 11: 13-18, 科学評論社, Jan, 2007
二上 政夫	社会教育	教授	日本大学文理学部応用地学科	理学博士(1985年,九州大学)	地質・古生物学	博物館学	古生物学	博物館概論	Revision of Yabeiceras, a Coniacian (Late Cretaceous) ammonite genus, based on material from the type locality in Fukushima, Japan (共著), 2016, Cretaceous Research, Vol. 61 (国際誌)	Early Albian (Early Cretaceous) douvilleiceratid ammonites from Haida Gwaii, British Columbia, Canada (共著), 2016, Journal of Paleontology, Vol. 90, Issue 01 (国際誌)	Two new ammonoid genera of the subfamily Gabbioiceratinae from the Upper Albian (Lower Cretaceous) of Hokkaido, Japan (共著), 2012, Paleontological Research, Vol. 16, No. 3 (日本古生物学会誌)	我が国における学芸員養成の諸問題(単著), 2009, 社会教育, 64巻 (No. 761) 11月号
佐久間 美穂	社会教育	講師	日本女子大学大学院人間社会研究科博士前期課程 修了	修士(社会福祉学)	社会福祉		社会福祉	相談援助	『中心と周縁-タイ・天草・シカゴ』(共著)春風社、2013	『戦後小樽の軌跡』(共著)春風社、2017	「創造的社会的構築とコミュニティー郊外型コミュニティの現状と課題に関する考察を通じて」(単著)『東北都市学会研究年報』Vol.15-16、2016、東北都市学会	「コミュニティ研究の焦点とその推移—創造的コミュニティの形成のために」(単著)『川村学園女子大学研究紀要』第27巻第2号、2016、川村学園女子大学

平成29年度 教員の学位・業績等

生活創造学部 生活文化学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
坂口 早苗	生活文化	教授	北里大学大学院 衛生学研究科 博士課程 地域保健学専攻	保健学博士、衛生学修士	公衆衛生学	保健・健康教育	女性健康学	子どもの保健	改訂 健康・保健の科学—出生前からの健康をめざして—, 共著, 日本小児医事出版, 2010年.	金属耐性赤痢菌の分離と実験赤痢感染症に対する応用, 第1報 耐性赤痢菌の分離とその性状, 単著, 感染症学雑誌, 第54巻, 第3号, pp. 27-35, 1980年.	Effect of beryllium chloride on porphyrin metabolism in pregnant mice administered by subcutaneous injection, 共著, Toxicology and Environmental Health, 第50巻, 第3号, pp.101-111, 1997年.	Time-related Changes in Splenic Immunocyte Population in Mice after a Subcutaneous Injection Beryllium, 共著, Trace Elements and Electrolytes, 第18巻, 第3号, pp. 107-111, 2001年.
渡邊 昭彦	生活文化	教授	東京大学文学部, 東京医科歯科大学医学部 医学科	文学士(文学), 医学士(医学)	児童青年精神医学	司法精神医学	精神医学, 臨床心理学特殊講義	精神医学特講, 精神薬理学(大学院)	心気症と精神分裂病(共)精神科治療学	児童思春期のヒステリー再考(共)精神科治療学	障害者心理学(共)健帛社	カプラン・臨床精神医学ハンドブック(第四版)(共)メディカル・サイエンス・インターナショナル
今井 久美子	生活文化	教授	女子栄養大学栄養学部 栄養学実践栄養学専攻	博士(医学)	栄養教育・指導	食文化	栄養指導論	臨床栄養学	【著書】(共著)今井久美子:研修医・医学生のための症例で学ぶ栄養学/折茂英生, 勝川史憲他編, pp59-63(2017)建帛社	【著書】(共著)今井久美子:改訂栄養指導論(Nブックス)/相川りゑ子編, pp76-79, pp149-151(2015)建帛社	【著書】(共著)今井久美子:第9章 成人期・更年期の栄養管理. 応用栄養学 2版(スタンダード人間栄養学)/五明紀春, 渡邊早苗, 山田哲雄, 吉野陽子編, Pp85-90(2017)朝倉出版	【紀要】川村女学院における健康教育と食育(3), 川村学園女子大学研究紀要, 28巻3号, P107-124(2017)
大坂 佳保里	生活文化	教授	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 修士課程 スポーツ健康システム・マネジメント専攻修了	修士(保健学)	食品加工学	食生活・文化	食品加工学	食生活論	【著書】食べ物と健康(食品学各論)(共著)「八千代出版」	【著書】地域食材大百科(共著)「農山漁村文化協会」	【論文】家庭環境が小・中学生の食習慣に及ぼす影響(共著), 子ども学研究年報「川村学園女子大学」第1巻第1号pp.15-20(2016)	【論文】家庭環境が子どもの朝食時の欠食に及ぼす影響(単著)子どもを取り巻く家庭・教育・環境をめぐる研究pp.13-22(2016)
小野崎 康裕	生活文化	教授	日本大学大学院芸術学研究科博士後期課程単位取得満期退学	文学修士	美学	美術史	美学	哲学概論	『クレッチマーの思想』(共著)有斐閣, 1986年	『哲学者たちの考えたこと』(共著)エルピス, 1990年	「ニコラ＝ブッサンの『時』と『真実』」『平成12-14年度/文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書/17世紀フランスにおける挿絵本と絵画についての総合的研究』2003年	「古代ギリシア変身譚の系譜」『平成15-17年度/文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書/17世紀フランスにおけるオウィディウスの挿絵と絵画についての総合的研究』2006年
坂口 武洋	生活文化	教授	北里大学大学院 衛生学研究科 公衆衛生学専攻	医学博士, 衛生学修士	公衆衛生学	社会医学	公衆衛生学	医薬と検査	カレント 社会・環境と健康: 公衆衛生学, 共著, 建帛社, 2014年.	Positive reaction in mouse ligated intestinal loop assay with nonenterotoxigenic and nonhemolytic strains of Staphylococcus aureus, 共著, Journal of Clinical Microbiology, 第26巻, 第3号, pp.600-601, 1988年.	Distribution of radioisotopic beryllium in mice after administration by various routes of injection, 共著, Journal of Toxicology and Environmental Health, 第39巻, 第4号, pp. 517-526, 1993年.	Effect of beryllium on δ -aminolevulinic acid dehydratase and porphobilinogen deaminase in pregnant mice, 共著, Pharmacology & Toxicology, 第79巻, 第6号, pp. 214-216, 1996年.
永嶋 久美子	生活文化	教授	昭和女子大学大学院生活機構研究科博士後期課程生活機構学専攻修了	博士(学術)	調理科学	食教育	調理学	給食管理実習	【著書】『一食献立による調理実習25 第2版』共著, 医歯薬出版, 2016年	【著書】『Nブックス 実験シリーズ 調理科学実験』共著, 建帛社, 2009年	【著書】『新時代の栄養教育実践』共著, 同文書院, 2011年	【論文】『大学生の偏食行動様式別食習慣および健康習慣の実態』共著, 日本公衆衛生雑誌, 第49巻, 第5号, pp.447-455, 2002年
林 正之	生活文化	教授	東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了	工学博士	応用界面化学	繊維工学, 代替医療	テキスタイル論	生活の数学	衣服材料の科学[第3版] 衣の科学シリーズ 共著 建帛社	医学・医療用語ハンドブック 編共著 建帛社	これならわかる生活科学ハンドブック 共著 ブレーン出版	ポリエチレンテレフタラートの表面張力の延伸による変化 共著 高分子論文集
齋藤 美重子	生活文化	講師	日本女子大学大学院	家政学修士	家政学・家庭科教育	生活経営	社会生活入門	消費生活論	「農業体験学習の目標と学習連携—「食」「農」「環境」をつなぎ, 生活に活かす学びに向けて—」, 単著, 査読有, 『日本教科教育学会誌』, 第40巻2号掲載決定, 2017	「小学校家庭科「家庭生活」「食」「消費と環境」分野の授業計画に関する一考察—体験的活動を生かした食・農・環境をつなぐ学習の展開—」, 単著, 査読有, 『女性学年報』第6号, 2015	『生きる力をつける学習—未来をひらく家庭科—』, 共著, 教育実務センター, 2013	「調理実習の実態と家庭科担当教員の意識調査結果からみる課題」, 共著, 査読有, 『日本家庭科教育学会誌』55-3号, 2012
荒井 恵美子	生活文化	講師	東京家政大学大学院人間生活学総合研究科 人間生活学専攻 博士課程修了	博士(学術)	介護食(咀嚼・嚥下困難) 調理科学	栄養指導 栄養管理	基礎栄養学, ライフステージ栄養学, 基礎調理学実習(1)・(2)	フードビジネス入門, ライフ商品開発, 生化学入門, 食品学実験	「咀嚼・嚥下困難者の食事におけるフレーバーリリースの研究」東京家政大学大学院 平成25年度 修士論文(2014)	「とろみ調整剤添加食品の香りフレーバーリリース—咀嚼を想定した圧縮付加時のにおいの変化—」日本調理科学会誌, 第48巻, 第4号, pp.255~264(2015)(査読付)	「とろみ調整剤の添加濃度と品温が食品の香りフレーバーリリースに及ぼす影響」東京家政大学研究紀要, 第56集(2), pp.67~74(2016)(査読付)	「とろみ調整剤添加食品の香りフレーバーリリース(第2報)—わさびの風味を保持する最適添加量の検討—」日本調理科学会誌, 第49巻, 第3号, pp.223~231(2016)(査読付)

平成29年度 教員の学位・業績等

生活創造学部 観光文化学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
西川 誠	観光文化	教授	東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退	文学修士	日本近代史	日本政治史	日本史概説(2)	日本史(1)	『日本政治史の新天地』(共著)(吉田書店、2013年)	『史料を読み解く4 幕末維新の政治と社会』(共著)(山川出版社、2009年)	『日本立憲政治の形成と変質』(共編著)(吉川弘文館、2005年)	『山縣有朋関係文書』全3巻(共編)(山川出版社、2004~2007年)
戸澤 純子	観光文化	教授	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程	博士(心理学)	知覚心理学		心理学	観光心理学	共著 ポテンシャル知覚心理学(サイエンス社) 2017年	分担執筆 日本心理学会・認定心理士資格新訂委員会(編) 実験・実習で学ぶ心理学の基礎(金子書房) 2015年	Junko Tozawa(2012) Height perception influenced by texture gradient, Perception, 41, 774-790.	Junko Tozawa (2010) Role of a texture gradient for the perception of relative size, Perception, 39, 641-660.
西岡 祥文	観光文化	教授	早稲田大学大学院文学研究科英文学専攻	文学修士(早稲田大学),商学士(慶応義塾大学),文学士(日本大学),文学士(佛教学),B.A.(米国,インディアナ大学)	アメリカ文学	アメリカ文化	観光文化専門演習(観光文化:アメリカ)	観光文化(アメリカ)	〈著書〉『野の花空の鳥—滝沢克己先生の思い出—』(共著)(創言社、1986)	〈論文〉『八月の光』における人種差別とキリスト教—ハインズとジョアンナの黒人差別—(『キリスト教文学研究』第17号、2000)	A Study of Religious Fatatics in William Faulkner's Light in August: Simon McEachern (『川村学園女子大学研究紀要』第17巻、第3号、2007)	滝沢克己と『数異抄』(1)—「インマヌエルの原事実」と「弥陀の本願」—(『川村学園女子大学研究紀要』第19巻、第2号、2008)
高山 啓子	観光文化	教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻	修士(人文科学)	社会学	コミュニケーション論	社会学	観光社会学	『文化の社会学—実践と再生産のメカニズム—』(宮島喬編)(共著)有信堂1995年5月	『語る身体・見る身体』(西阪仰・山崎敬一編)(共著)ハーベスト社1997年12月	マイケル・リンチ『エスノメソドロジーと科学実践の社会学』(水川喜文、中村和生、浦野茂、前田泰樹、高山啓子、岡田光弘、芦川晋 訳)(共訳)頭草書房2012年10月	『協同作業場面の身体配置—通信指令室における社会空間の構成—』(単著)『年報社会学論集』10号157-168頁、1997年6月
田中 実	観光文化	教授	インディアナ大学大学院応用言語学科	文学修士(英語学)	応用言語学	認知意味論・言語学	観光英語VI	観光英語IV	"A Persistent Role of Learners' L1-Knowledge in the Acquisition of Lexical Terms of a Second Language"『英語展望』(ELEC Bulletin) 1992年春号(No.98)(1991年度ELEC賞 B部門(英語教育及び英語教授法に関する研究論文)受賞論文)	『Anyのコア的意味』(2010)川村学園女子大学研究紀要 第21巻第2号	『応用言語学事典』編集コーディネーター・原稿執筆 研究社 2003	『Eゲイト英和辞典』原稿執筆 ベネッセ・コーポレーション 2003
丹治 朋子	観光文化	教授	立教大学大学院観光学研究科観光学専攻博士課程後期課程	修士(社会学)	ホスピタリティ・マネジメント	観光学	ホテル・マネジメント	外食産業論	『観光経営学』(共著)朝倉書店	『観光まちづくりのマーケティング』(共著)学芸出版	『観光学入門』(共著)有斐閣	『新・大江戸東京の歩き方—東京シティガイド検定公式テキスト』(共著)ダイヤモンド社
寺本 久男	観光文化	教授	上智大学文学部新聞学科	学士(ジャーナリズム)	航空事業論		航空事業論	顧客サービス論				
藤井 信行	観光文化	教授	日本大学大学院文学研究科博士後期課程(歴史学専攻)満期退学	文学修士, MA(イリノイ大学)	観光歴史学	19世紀・20世紀ヨーロッパ国際関係史	観光歴史学	世界史	『ヨーロッパの古城と宮殿』(単著)(新人物往來社、2012年)	『「日英同盟」協約交渉とイギリス外交政策』(単著)(春風社、2006年)	『歴史遺産と『観光歴史学』』(『総合観光研究』第12号、2013年)	『歴史遺産としての記録と記憶の保存』(『復興ツーリズム:観光学からのメッセージ』所収、同文館出版、2013年)
小堀 貴亮	観光文化	准教授	千葉大学大学院教育学研究科社会科教育専攻修士課程	博士(学術)	観光地理学	観光文化論	観光文化総論	地理学概論	『タイ北部・ランパーン県における温泉観光開発』(共著)『温泉地域研究』第26号、日本温泉地域学会、2016年3月	『観光地理学—観光地域の形成と課題—』(山村順次編)(共著)同文館出版、2012年10月	『図説 新・日本地理—自然環境と地域変容—』(山村順次編)(共著)原書房、2008年4月	『観光地域社会の構築—日本と世界—』(山村順次編)(共著)同文館出版、2006年3月